

令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業一覧

No	分類	事業名	事業概要	事業費(円)	地方創生臨時交付金 活用額(円)	備考(効果)
1	感染拡大防止対策	保育施設等感染拡大防止事業	町内各保育事業所に対して、新型コロナウイルス感染症対策のための消耗品等(マスク・消毒液等)の購入費に対して補助を行いました。	4,732,000	2,325,000	感染拡大とクラスターの発生を防ぐことが出来ました。
2		幼稚園施設感染拡大防止事業	町内各幼稚園に対して、新型コロナウイルス感染症対策のための消耗品等(マスク・消毒液等)の購入費に対して補助を行いました。	1,098,000	549,000	
3		各小中学校の消毒作業による感染拡大防止事業	町内小中学校で、感染拡大防止事業として放課後に各教室等の消毒作業を行いました。	6,246,698	6,240,000	
4		小中学校感染拡大防止事業	町内の各小中学校で、新型コロナウイルス感染症対策のための消耗品・備品を購入しました。 ・主な消耗品 使い捨て手袋・薬用液体せっけん・雑巾 等 ・主な備品 固定式非接触赤外線体温計・ジェットヒーター・空気清浄機 等	7,646,643	3,719,000	
5		公共施設感染拡大防止事業	町公共施設(庁舎・スカイホール)における感染拡大防止対策の消耗品・備品を購入しました。 ・消耗品 消毒液・ペーパータオル等 ・備品 足踏み式消毒液ポンプスタンド 4台 ・二酸化炭素測定器 50台 (避難所施設となる各公共施設にも配布)	1,348,496	1,346,000	
6		町営プール3密対策事業	町営プールでの更衣室の密を防ぐための監視員を配置しました。	1,531,800	1,531,000	
7		福祉施設感染拡大防止事業	各福祉施設事業所に対して、職員等の新型コロナウイルス感染症のPCR検査費用の助成を行いました。	858,330	858,000	
8		避難所設備整備事業 (備品購入等)	避難所施設における新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐために、感染者やその疑いがある人を分けるための避難所用簡易テントやベッドの購入と、避難所施設維持のための備品類を購入しました。 ・避難所用ベッド 130台 ・避難所用テント 140台 ・スポットクーラー 7台 ・マンホールトイレ一式 20台	5,665,880	5,664,000	
9		災害時における庁舎機能維持事業	災害時において対策本部が設置される庁舎の機能維持及び新型コロナウイルス感染症対策のための整備を行いました。 ・通信機器設置(Wi-Fi機能) ・発電機修繕	2,011,223	2,010,000	
10		保健センター機能維持事業	新型コロナウイルス感染症ワクチン接種事業を行う部署があり、また災害時には救護施設となる保健センターの機能設備維持のために、空調設備・非常用放送設備の整備事業を行いました。	23,600,830	23,600,000	
11		避難所等設備整備事業 (施設整備)	災害時に避難所等となる町民会館・コミュニティセンターでの、新型コロナウイルス感染症対応のための空調設備整備事業を行いました。 ・町民会館 ・元狭山コミュニティセンター ・長岡コミュニティセンター	4,446,750	4,446,000	
12		小中学校3密対策事業	各小中学校において、児童・生徒等の新型コロナウイルス感染症感染防止のために、空調等施設の整備を行いました。	7,283,650	7,283,000	
13	事業者支援	福祉事業所運営維持支援事業	コロナ禍において、原油価格・物価高騰に直面する町内に所在する福祉施設へ送迎・訪問等で使用する自動車の燃料費を補助しました。 ・介護事業所等数 43事業所 ・障がい者福祉事業所等数 14事業所	3,508,677	2,341,000	安定した事業所経営に貢献しました。
14		農業経営者事業継続支援事業	コロナ禍において、原油価格・物価高騰に直面する農業者に対して、肥料等の購入費を補助し、農業経営の安定化を図りました。 ・交付件数:54件	7,982,000	6,400,000	
15		中小企業事業継続支援事業	コロナ禍において、原油価格・物価高騰に直面する町内の中小企業(個人事業主を含む)に対して、事業に要した燃料費、光熱水費の一部を補助し、事業の継続を図りました。 ・交付件数:621件	53,595,000	50,000,000	
16		地域経済活性化事業	コロナ禍において、原油価格・物価高騰が町民生活を圧迫している中で、プレミアム率30%の電子マネーポイント還元により、家計負担の軽減と地域経済の活性化に繋がりました。	39,331,153	9,800,000	
17	町民生活の維持と支援	低所得世帯支援	コロナ禍における原油価格・物価高騰に直面する低所得世帯(住民税均等割のみ課税世帯)への支援として給付金の支給しました。 ・給付金支給世帯数:409世帯	22,540,000	22,390,000	住民の家計負担軽減と健康に貢献しました。
18		子育て世帯支援 (赤ちゃん世帯応援)	子育て世帯への支援として、出産時に給付金の支給と出生祝い記念品の提供をしました。 臨時給付金対象児童数:127人 出生祝い記念品提供児童数:127人	6,789,000	5,850,000	
19		子育て世帯支援(幼児世帯)	子育て世帯への支援として幼児のインフルエンザ予防接種の補助を行いました。 接種回数:800回	3,032,610	3,000,000	
20		子育て世帯支援 (保育園・幼稚園世代)	保育園・幼稚園へ給食食材高騰分の臨時支援補助金の支給を行いました。 ・支給事業者数:13園 併せて、在宅養育児童を持つ世帯へ同等の給付金を支給しました。 ・支給対象児童数:57人	1,505,000	1,435,000	
21		子育て世帯支援(義務教育世代)	羽村・瑞穂地区学校給食組合へ臨時負担金を支出し、物価高騰の中でも、給食費を値上げせずに、安定した給食の提供を行いました。	2,504,000	2,500,000	
22		障がい者支援	障がい者を持つ非課税世帯の下水道料金の助成と、障害者の就労支援を行いました。 ・下水道料金助成実人数:59人	14,682,185	6,347,000	
23		高齢者支援	75歳以上の高齢者世帯で且つ非課税世帯に対して、下水道料金の助成を行いました。 ・助成実人数:208人	1,153,202	1,152,000	
24		町民の健康対策	コロナ禍において、運動不足等による体調不良を未然に防ぐために、健康増進アプリを作りました。	6,809,050	4,321,000	
25		公営企業補助	コロナ禍において電気料金の高騰により、経営を圧迫している公営企業(下水道企業)に対して、経営の安定化のために電気料金高騰分の一部を繰出金として補助しました。	2,094,606	2,000,000	
26		町民生活の維持	コロナ禍において、原油価格等の高騰によって影響を受けた地域公共交通事業へ補助を行い、町民の移動手段の維持に努めました。	57,100,000	7,988,000	
<b>合計</b>				<b>289,096,783</b>	<b>185,095,000</b>	